



## 平成27年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年5月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フルヤ金属

コード番号 7826 URL <http://www.furuyametals.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 古屋 堯民

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 榎田 裕之

TEL 03-5977-3377

四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年6月期第3四半期の業績(平成26年7月1日～平成27年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第3四半期	16,288	△23.6	1,506	68.7	1,578	71.8	838	—
26年6月期第3四半期	21,320	0.2	892	△15.4	919	△13.4	△3,116	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第3四半期	117.08	116.63
26年6月期第3四半期	△435.42	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第3四半期	22,389	14,672	65.3
26年6月期	22,230	14,109	63.3

(参考)自己資本 27年6月期第3四半期 14,628百万円 26年6月期 14,071百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	40.00	40.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年6月期の業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,400	△14.5	2,200	79.1	2,230	78.5	1,400	—	195.52

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期3Q	7,265,212 株	26年6月期	7,265,212 株
27年6月期3Q	101,934 株	26年6月期	105,934 株
27年6月期3Q	7,265,212 株	26年6月期3Q	7,265,212 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、米国経済の順調な回復などを背景に急激な円安が進行したことで、輸出環境の改善期待から株式市場が活況を呈したものの、消費税増税前の駆け込み需要の反動と天候不順による個人消費の伸び悩みに加え、円安に伴う輸入原材料価格の上昇、中東やウクライナ情勢、中国・ロシア経済の減速感など先行き不透明な状況が続きました。

このような経済環境の中、各種電子部品や半導体の市況は、スマートフォンやタブレット端末関連需要に支えられて好調を維持し、リチウムタンタレート単結晶育成装置向けイリジウムルツボや、半導体製造装置向け温度センサーの受注も堅調に推移しました。また、人工サファイア単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注が回復し、サーバー向け需要などを背景にHD向けルテニウムターゲットの受注も回復基調が続き、触媒製造事業が本格稼働いたしました。一方、一部の貴金属価格の下落に伴い、たな卸資産の評価減を実施し、第1四半期会計期間に54百万円、及び当第3四半期会計期間に77百万円を製造原価に計上いたしました。

その結果、当第3四半期累計期間において、売上高16,288百万円（前年同四半期比23.6%減）、売上総利益2,978百万円（前年同四半期比26.9%増）、営業利益1,506百万円（前年同四半期比68.7%増）、経常利益1,578百万円（前年同四半期比71.8%増）、四半期純利益838百万円（前年同四半期比3,116百万円の四半期純損失）となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### ①セグメント別の業績

##### [電子]

前年同四半期比貴金属価格の下落から販売単価は下がったものの、スマートフォンなどのSAWフィルター（必要な周波数信号を取り出すデバイス）に使用されるリチウムタンタレート単結晶育成装置向けのイリジウムルツボや、ガラス溶解装置向け強化白金ルツボの受注が堅調に推移したほか、LED基板に使用される人工サファイア単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注も回復し、売上高8,386百万円（前年同四半期比35.8%減）、売上総利益1,758百万円（前年同四半期比15.8%増）となりました。

##### [薄膜]

スマートフォンなどのタッチパネル配線向け銀合金ターゲットの受注が伸び悩んだものの、HD向けルテニウムターゲットは、サーバー向けの需要に加えて、マーケットシェアの拡大などから受注が回復し、売上高4,142百万円（前年同四半期比1.7%増）、売上総利益671百万円（前年同四半期比143.6%増）となりました。

##### [センサー]

半導体製造装置メーカーや、台湾などの海外半導体メーカーからの受注が堅調に推移し、売上高1,242百万円（前年同四半期比2.6%増）、売上総利益383百万円（前年同四半期比10.4%増）となりました。

##### [その他]

使用済み電極の回収精製がやや伸び悩んだものの、第1四半期に有機EL向け貴金属化合物の受注が増加し、当第3四半期には触媒製造事業も本格稼働したことから、売上高2,516百万円（前年同四半期比15.5%減）、売上総利益297百万円（前年同四半期比43.9%増）となりました。

#### ②海外売上

当第3四半期累計期間における輸出売上高は3,416百万円（総売上高に占める割合は21.0%）となりました。

地域別にはアジア向け輸出売上高2,453百万円（海外売上高に占める割合は71.8%）、北米向け輸出売上高912百万円（海外売上高に占める割合は26.7%）欧州向け輸出売上高51百万円（海外売上高に占める割合は1.5%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は22,389百万円（前事業年度末比159百万円の増加）、負債は7,716百万円（前事業年度末比404百万円の減少）、純資産は14,672百万円（前事業年度末比563百万円の増加）となりました。

### ①流動資産

当第3四半期会計期間末における流動資産残高は12,967百万円となり、前事業年度末比1,182百万円増加いたしました。これは売掛金が1,049百万円減少しましたが、たな卸資産が1,226百万円、現金及び預金が804百万円増加したことが主な要因であります。

### ②固定資産

当第3四半期会計期間末における固定資産残高は9,422百万円となり、前事業年度末比1,022百万円減少いたしました。これは繰延税金資産が509百万円、有形固定資産が508百万円減少したことが主な要因であります。

### ③流動負債

当第3四半期会計期間末における流動負債残高は4,949百万円となり、前事業年度末比302百万円減少いたしました。これは1年内返済予定の長期借入金が294百万円、短期借入金が100百万円減少したことが主な要因であります。

### ④固定負債

当第3四半期会計期間末における固定負債残高は2,767百万円となり、前事業年度末比101百万円減少いたしました。これは長期借入金が129百万円減少したことが主な要因であります。

### ⑤純資産

当第3四半期会計期間末における純資産残高は14,672百万円となり、前事業年度末比563百万円増加いたしました。これは繰越利益剰余金が544百万円増加したことが主な要因であります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、「平成27年2月6日付平成27年6月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」で発表しております計画から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### 3. 四半期財務諸表

#### (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	701	1,505
受取手形	82	69
売掛金	3,357	2,308
商品及び製品	755	584
仕掛品	734	1,554
原材料及び貯蔵品	5,164	5,740
前払費用	47	90
繰延税金資産	674	483
関係会社短期貸付金	101	130
未収消費税等	161	466
その他	5	33
流動資産合計	11,785	12,967
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,541	2,598
構築物（純額）	50	57
機械及び装置（純額）	3,273	3,604
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	40	36
土地	1,612	1,612
リース資産（純額）	62	58
建設仮勘定	902	6
有形固定資産合計	8,482	7,973
無形固定資産	103	102
投資その他の資産		
投資有価証券	6	6
関係会社株式	117	117
保険積立金	19	23
長期前払費用	5	3
繰延税金資産	1,649	1,139
その他	60	55
投資その他の資産合計	1,858	1,346
固定資産合計	10,444	9,422
資産合計	22,230	22,389

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,980	2,086
短期借入金	800	700
1年内返済予定の長期借入金	1,735	1,441
リース債務	30	28
未払金	255	363
未払法人税等	27	51
賞与引当金	154	103
役員賞与引当金	25	—
設備関係未払金	79	20
前受金	93	33
その他	70	122
流動負債合計	5,252	4,949
固定負債		
長期借入金	2,079	1,950
リース債務	40	34
長期未払金	406	406
退職給付引当金	322	356
資産除去債務	15	15
その他	4	4
固定負債合計	2,868	2,767
負債合計	8,121	7,716
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本準備金	5,414	5,414
利益準備金	9	9
別途積立金	80	80
繰越利益剰余金	3,442	3,987
自己株式	△319	△307
株主資本合計	14,071	14,628
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1	△1
評価・換算差額等合計	△1	△1
新株予約権	38	45
純資産合計	14,109	14,672
負債純資産合計	22,230	22,389

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)
売上高	21,320	16,288
売上原価	18,972	13,309
売上総利益	2,347	2,978
販売費及び一般管理費	1,454	1,471
営業利益	892	1,506
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	0	0
為替差益	39	93
助成金収入	—	17
雑収入	44	11
営業外収益合計	85	124
営業外費用		
支払利息	56	43
デリバティブ評価損	1	0
雑損失	1	8
営業外費用合計	59	52
経常利益	919	1,578
特別損失		
たな卸資産評価損	6,480	—
特別損失合計	6,480	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△5,561	1,578
法人税、住民税及び事業税	11	39
法人税等調整額	△2,457	700
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,116	838

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成25年7月1日至平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	電子	薄膜	センサー	その他	
売上高					
外部顧客への売上高	13,057	4,072	1,211	2,979	21,320
セグメント利益	1,518	275	347	206	2,347

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第3四半期累計期間(自平成26年7月1日至平成27年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	電子	薄膜	センサー	その他	
売上高					
外部顧客への売上高	8,386	4,142	1,242	2,516	16,288
セグメント利益	1,758	671	383	297	3,110

(注) セグメント利益の合計額は、たな卸資産評価減前の売上総利益であり、当第3四半期累計期間損益計算書の売上総利益と一致しておりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,110
たな卸資産評価減	△132
財務諸表の売上総利益	2,978